

京都市会だより

第43号

平成19年(2007年)
11月15日発行

発行/京都市会
編集/市会事務局
〒604-8571 京都市中京区寺町通御池上る
TEL.075(222)3697
FAX.075(222)3713

京都市会ホームページ

http://www.city.kyoto.jp/shikai/



栗尾峠の展望

病院・水道・下水道・市バス・地下鉄
公営企業決算を認定
公営企業の健全な経営に向け、活発な議論

9月定例会は、9月6日から10月5日までの30日間開かれ、市長提出議案37件、議員提出議案11件を審議しました。

市長提出議案のうち、病院事業など公営企業会計等の平成18年度決算8件については、公営企業等決算特別委員会を設置して付託・審査のうえ、すべて認定しました。平成19年度一般会計の補正予算など3件についても、普通予算特別委員会を設置して付託・審査のうえ、原案のとおり可決しました。

また、職員勤務時間、休日、休暇等に関する条例の改正など議案22件については、それぞれの担当の常任委員会で審査のうえ、すべて原案のとおり可決しました。

さらに、能狂言師の茂山七三氏と小説家の瀬戸内寂聴氏の名誉市民の表彰など議案4件についても原案のとおり可決しました。

議員提出議案については、原爆症認定と被爆者救済対策強化についての意見書など8件の議案を原案のとおり可決しました。

| 日 | 議案 | 内容 |
|----------|------------|------------------------------|
| 9月6日 | 本会議 | 会期の決定、議案の提案説明など |
| 9月10日 | 本会議 | 議案の処理、代表質問、公営企業等決算特別委員会の設置など |
| 9月10日 | 公営企業等特別委員会 | 正副委員長の互選、各公営企業会計等の決算の審査など |
| 9月12-14日 | 公営企業等特別委員会 | 正副委員長の互選、一般会計補正予算の審査など |
| 9月18-21日 | 普通予算特別委員会 | 正副委員長の互選、一般会計補正予算の審査など |
| 9月25-26日 | 普通予算特別委員会 | 正副委員長の互選、一般会計補正予算の審査など |
| 9月10日 | 普通予算特別委員会 | 正副委員長の互選、一般会計補正予算の審査など |
| 10月4日 | 普通予算特別委員会 | 正副委員長の互選、一般会計補正予算の審査など |
| 9月28日 | 常任委員会 | 付託議案や請願の審査など |
| 10月1日 | 常任委員会 | 付託議案や請願の審査など |
| 10月4日 | 常任委員会 | 付託議案や請願の審査など |
| 10月5日 | 本会議 | 決算や議案、請願、意見書の議決など |

今回審議した主な議案の概要は次のとおりです。(結果は4面参照)

職員勤務時間、休日、休暇等に関する条例の一部改正

本市職員に1日に30分認められている有給の休憩時間を、国家公務員の休憩時間が廃止されたことに準じ、20年1月から廃止しようとするものです。

工事委託契約の締結(京福電気鉄道嵐山線路面電)

(公営企業会計決算の概要)

病院事業

外来患者数の減少等により、総収益は138億1千1百万円(対前年度比0.1%の減)となり、総費用は薬品費の減少等により、139億5千6百万円となりました。この結果、1億4千5百万円の赤字となり、累積赤字は4億8千万円となりました。

水道事業

総収益は給水収益の減少等により、310億6千9百万円(対前年度比17%の減)となり、総費用は企業債支払利息の減少等により、312億4千6百万円と減少しました。この結果、1億7千7百万円と6年ぶりの赤字となり、累積赤字は47億2千7百万円となりました。

公共下水道事業

総収益は下水道使用料収入の減少や一般会計からの負担金の減少等により、506億9千9百万円(対前年度比33%の減)となり、総費用は企業債支払利息の減少等により、502億6千8百万円と減少しました。この結果、4億3千1百万円と6年連続の

車留場整備

右京区内の公共交通の良好な接続の確保のため、大秦天神川駅周辺整備事業として本市が行う京福電気嵐山線の停留場新設工事を、工事の円滑な施行等を図るため、軌道経営者に委託しようとするものです。

黒字となりました。また、累積赤字は29億8千4百万円となりました。

自動車運送(バス)事業

運送収益や一般会計補助金の増加等により、総収益は219億5千3百万円(対前年度比16%の増)と増加する一方、職員数の削減による人件費の減少等により、総費用は211億3千9百万円と減少しました。この結果、8億1千4百万円と4年連続の黒字となりました。また、累積赤字は131億4百万円となりました。

高速鉄道(地下鉄)事業

一般会計補助金の増加等により、総収益は250億5千3百万円(対前年度比54%の増)と増加する一方、職員数の削減等による経常人件費の減少や減価償却費の減少等により、総費用は181億1千3百万円と減少しました。この結果、68億4千万円の赤字となり、累積赤字は2千739億9千7百万円となりました。

(このほか地域水道、京北地域水道、特定環境保全公共下水道の各特別会計についても、審議を行いました。)